

宇宙解釈が世界を生かしも滅ぼしもする

平和統一 NEWS No.88 (2015/ 12 月号)

渡辺 久義

「宇宙解釈？ それって哲学とか宗教のこと？ そんなものがどうしてこの世界の生死に関係があるの？」と言う人があるかもしれない。しかし今この世界情勢を見ていると、そう考えざるを得ない。しかもこれは緊急の問題で、これを疑ったり否定している余裕がなくなった。地球が危ない。これに対処するために要求されていることは、一人ひとりが哲学者になることである。

ところで、私の訳した『ザ・シンクロシティ・キー』の著者デイヴィッド・ウィルコックが、ブログ記事を書かなくなったので、もうこんな危険な仕事をやめたか、もしかしたら暗殺されたのかと思っていた。しかし彼は、しばらく休止しただけで、ずっと執筆も活動も続いていた。だいたいってからこれを知り、その間に書かれたものを、現在、3篇翻訳（抄訳）紹介している。その最新のもの「〈一者の法〉のチャネル、カルラの旅たちを祝う」は、「一者の法」(The Law of One) という高次元情報源からの情報の追加が中心になっている。上記翻訳書を読まれて、この部分が難しいと思われた方は、ぜひ読んでいただきたい。理解を助けるはずである。その5ページ目に彼はこう言っている――

「一者の法」から抽出することのできる究極のポイントは、宇宙は生きているということである。我々自身を含め、我々の見るすべてを形成したある特異な、メガ・アイデンティティというべきものがある。

我々は究極的に、宇宙を創造した、より大きなインテリジェンスのホログラムである。分離は、創造者が自分自身を知るために創り出された一つの幻覚である。・・・

意識があらゆるものを結びつけている。我々が自分自身を、すべてのもの、すべての人と、真に一体であると感じないとすれば、我々はいまだに“幻覚”の中に生きているのである。

「宇宙は生きている」――『シンクロシティ』全体が言おうとしているのが、まさにそれであって、証明などいまさら必要はない。要するに、死んだ宇宙の中に生き物が点在するの

ではない。もしそう考えると、すべてが狂ってくる。これは、今は物理学者でも納得するはずである。

「すべてを形成したある特異なメガ・アイデンティティ」「我々は宇宙を創造した、より大きなインテリジェンスのホログラム」——これは現代用語による、神、あるいは宇宙の説明であり、世界の宗教、特に仏教などは、表現が違うだけで、すべてこれと同じことを言おうとしていると思われる。ホログラムとは、全体をどんなに小さく分けても、その中に全体像が宿っている映像のことである。神の分身、神の息を吹き込まれた存在、分け御霊(みたま)——すべて我々自身のあり方を言ったものである。

「自分自身を、すべてのもの、すべての人と真に一体」と感ずる、つまり「分離」は本然の姿ではない、という感覚がなければならぬ。これを、非科学的な間違った感覚だなどと言う人は少ないだろう。かつて海外に留学していたある日本人が「あなたの宗教は何ですか」と聞かれ、ムツとして「私は無神論者だ」と言ったという話がある。何であることが恥ずかしいことかの感覚が、その頃とは逆になりつつある。

命(いのち)は時間的にも空間的にも連続したもの、共有される一つのものと考えねばならない。しかし命は、植物・動物の低い状態から、人間の高い状態に進化するもの、さらには聖書でいう「永遠の命にあずかる」ことを予定されたものである。進化とは心の向上のことであって、形態の変化のことではない。命の連続性、意識レベルの向上といったことは、唯物論の呪縛さえ解ければ、子供にもわかる理屈なのだから、学校でも教えなければならない。これは宗教教育などというものではない。文字通り、命にかかわる教育である。

今、我々は切羽詰まった状態にある。古い唯物論的宇宙観からこのような生命的宇宙観に切り替えなければ、地球の命が危ないからである。かりに、今述べたようなことはすべて幻想だとしよう——あなたは私にとって完全な他者で、命のつながりなどというものはなく、私と環境に命のつながりなどなく、あるのは利用価値のつながりだけだ、意識レベルの向上などということはなく、人間はダーウィンから抜け出せない宿命的に闘争を本質とする存在だ——。今世界的に、戦争(実はテロ)を仕掛けている連中は——それが誰であれ——徹底的に我々の世界解釈を否定し、憎み、嘲笑する連中である。(昔の領土戦争などではない。)

「隔離」がこの世界の本質だと信ずる連中である。だから彼らは、他者を苦しめ、追い払い、地球人口が5億になるまで殺し尽くし、その死体の上に宮殿を築いて、自分たちだけで栄えることができると信じている。

これは我々の哲学とは原理的に正反対の哲学である。我々は断固として彼らと戦わなければならないが、これは彼らの宇宙解釈の誤りを、徹底的に指摘する戦いでなければならない。

悪い奴らを見つけて銃でねらい撃ちする戦争ではない。